

オンラインコミュニケーション能力の発達モデルに応じた望ましい利用範囲

	Step1 インターネット利用開始	Step2 オンラインコミュニケーション体験	Step3 オンラインコミュニケーション入門	Step4 オンラインコミュニケーション習熟
想定リスク	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもに不適切な情報への接触 出会い、暴力、恐怖、アダルト、ギャンブル、酒、タバコなど ●熱中による時間の浪費 動画、ゲーム、電子書籍、その他娯楽系コンテンツ 		<ul style="list-style-type: none"> ●子どもに不適切な情報への接触 出会い、暴力、恐怖、アダルト、ギャンブル、酒、タバコなど ●熱中による時間の浪費 動画、ゲーム、電子書籍、その他娯楽系コンテンツなど ●子ども自身の不適切な発信 写真、書き込み、個人情報、誹謗中傷など 	
能力（スキル）	<ul style="list-style-type: none"> ●機器の基本操作ができる ●情報の信ぴょう性を確認することができる ●健康や学習時間に配慮し、節度のある使い方ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章で用件や気持ちを適切に表現できる ●文章が相手の気持ちを適切に表現しているとは限らないことを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●不快なメッセージなどに冷静に対応できる ●複数人でのコミュニケーションの際に、同調しすぎず自分の判断ができる ●トラブルが生じた際に、客観的に自分と相手の状況を判断し、冷静に行動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ●場面や相手に合わせた適切な表現をすることができる ●目的に応じて、最適なコミュニケーションツールや手法を使い分けることができる
知識	<ul style="list-style-type: none"> ●危険なウェブサイトや誤った情報などが存在することを知っている ●個人情報の大切さなど、基本的な情報の取り扱い方を知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネットを経由した通信は、内容の記録が必ず残ることを知っている ●一度発信した文章や写真などのデジタル情報は完全に消すことはできないと知っている ●相手の表情などが見えないコミュニケーションは、意思疎通が難しいことを知っている ●インターネット上でも、場面に応じた発信が必要なことを知っている（文体、文量など） ●了承を得ずに撮影してはいけないものがあることを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネットの公開性を理解し、発信した内容は世界中の人に見られる可能性があることを知っている ●サービスによって情報の公開範囲が異なり、利用者がその判断をしなければならないことを知っている ●オンラインコミュニケーションでは、自分の気持ちや情報を必要以上に伝えてしまいがちなことを知っている ●ネット上での誹謗中傷や名誉毀損は、未成年でも罪に問われることがあることを知っている 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネットが限りある資源であることを知っている ●インターネットを利用する上で、最低限必要な肖像権や著作権などの法律やルールを知っている ●インターネット上ではかたんに他人に成りすますことができることを知っている ●オンラインコミュニケーションでは、未知の人物の言うことを過剰に信用しがちであることを知っている
倫理	<ul style="list-style-type: none"> ●約束や決まりを守る ●危険や不安を感じたら大人に相談する 	<ul style="list-style-type: none"> ●状況や気持ちを考え、相手を思いやることができる 	<ul style="list-style-type: none"> ●他者を傷つけない ●自分を大切にする 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報社会の一員としての自覚を持ち、責任ある行動がとれる ●公共公益の意識を持って、インターネットを活用し、情報社会の発展に貢献できる
範囲と対象	サイト閲覧のみ許可し、オンラインコミュニケーションを禁止する	家族間に限った発信（オンラインコミュニケーション）を認める	顔を知っている友人への発信（オンラインコミュニケーション）を認める ----- 1対1での利用を認める グループでの利用を認める	顔を知らない相手への発信（オンラインコミュニケーション）を認める ----- 1対1での利用を認める 1対複数での利用を認める